

「救急入院患者における呼吸器ウイルスの有無及び入院後の経過に関する  
カルテ情報を元にした観察研究」について

洛和会音羽病院では、当院救急外来から入院された患者さんを対象に以下の研究を行っております。本研究についてご質問などがございましたら、最後に記載しております「問い合わせ窓口」までご連絡ください。

**【研究概要と利用目的】**

2023年7月1日から2024年12月31日にかけて救急入院となった呼吸器症状を有する50歳以上の患者さんを対象に「救急入院患者における呼吸器ウイルスの有無及び入院後の経過に関するカルテ情報を元にした観察研究」を行います。本研究の目的は、呼吸器症状を有する患者さんにおいてどれくらいの頻度でRSウイルス及びその他の呼吸器ウイルスが関連しているか、またどのような患者さんがこれらのウイルスに罹りやすいのかを明らかにし、今後同じような症状のある患者さんの診療やワクチン接種などの予防戦略へ役に立てることです。

対象患者さんから新型コロナウイルスの検査目的で採取した鼻咽頭スワブ検体を用いて、RSウイルスをはじめとする様々な呼吸器ウイルスを検査します。また、病歴や背景因子、生活状況、身体所見、検査所見、入院経過などの情報を電子カルテから収集します。一部の患者さんについては、入院1ヶ月後の健康状態や6ヶ月後までの再入院の有無などについて、電子カルテの他、必要に応じて電話や手紙を用いて調査します。

**【研究期間】**

2023年7月1日～2026年9月30日

**【個人情報保護の方法】**

本研究で収集されたデータは、匿名化された上でデータセンターに提供されます。その際、患者さん個人が特定されるような情報(氏名、住所、電話番号など)が提供されることはありません。また、解析されたデータが医学雑誌に公表されたり、他の手法で公表されたりする場合、厳重な対策を施して本研究の患者さんが特定されないようにします。

**【研究への試料・データ提供による利益と不利益】**

この研究中に行われる診療は通常の診療と同じですので、研究参加の有無により診療に影響はありません。一方で、RSウイルス及びその他の呼吸器ウイルスの検査を受けることで疾病の原因がより正確に分かり、今後の診療の参考になるという利益が期待できます。

**【研究終了後のデータの取り扱いについて】**

本研究に登録した患者さんの治療・管理に関する集積データは、最低5年間保管し、以後廃棄します。

**【研究成果の発表について】**

本研究の成果は論文や学会で公表されますが、その場合も第三者に患者さんの個人情報が明らかにならないように厳重に守られます。

**【研究への試料・データ使用の拒否と中止について】**

本研究への試料やデータの提供を拒否・中止したい場合には下記の「問い合わせ窓口」にご連絡ください。拒否や中止のご希望があった場合、患者さんの試料・データを本研究に使用することはありません。しかし、すでに研究成果を論文などで発表していた場合には、結果を破棄できない場合もあります。また、拒否や中止を希望されても何ら不利益を受けることはありません。

**【問い合わせ窓口】**

本研究に関するご質問などがある場合には、遠慮なく下記の連絡先にお問合わせください。

病院名・部署：洛和会音羽病院・感染症科

研究責任者(担当者)：井村春樹

電話番号：075-593-4111